



大内中だより

さつきの丘

Webページはこちら→

令和7年10月17日
第24号



後期スタート

10月14日（火）朝に後期始業式が行われ、式辞では、次のようなことをお話しました。

- ノーベル賞の生理学・医学賞と化学賞を日本人が受賞した快挙について
- 生理学・医学賞を受賞した坂口志文さんの受賞内容と受賞に至るまでの努力について
- 3年生は進路の目標の達成に向けて学年一丸となって努力をすること、2年生は学校のリーダーとして頑張ること、1年生は自ら挑戦して自ら学ぶ中学校生活を送ることについて
- 11月8日の学校創立10周年記念式典・記念講演会（講師：伊藤孝寛名古屋大学准教授）について

それぞれの学年のゴールをイメージしながら、後期を過ごしてもらいたいと思います。

ここで、前期終業式の生徒発表（前期の振り返りと後期に向けて）を紹介します。

前期の振り返りと後期頑張りたいこと

3年B組 佐藤 ** さん

私が前期に力を入れたことは二つあります。

一つ目は、部活動です。昨年度から合同チームでの出場となり、今までとは違った練習や動きに奮闘する毎日でした。私は中学校から始めたため、試合に出る回数は少なかったのですが、その分試合中の声出しやタイムアウトでの声かけなど、チームのみんながプレーに専念できるようにサポートを頑張りました。四人の練習や他校の生徒との合同練習では、ぶつかることもあったのですが、試合では心をつ一つにしてプレーすることができました。素晴らしい仲間たち、先生方とともに秋季・総体と全県大会に二度出場することができ、自分はとても恵まれていると感じました。

二つ目は、学習です。一、二年生のときは部活と勉強の両立で精一杯でしたが、三年生になり気持ちを新たに学習に取り組みました。

私が実践した方法は二つです。まずは、勉強を始める時間、場所を固定化することです。スマホの使用も制限し、別の部屋に置くなど自分で勉強に集中できる環境を整えました。スマホを使う時間と勉強をする時間のメリハリをつけることで集中力もアップしました。

三つ目は、ワークやテキストの取り組み方です。今まではテスト範囲が出されてから取り組んでいました。しかし、今回は、授業で習ったその日にワークを進め、二週間前には苦手なところの復習に時間を充てることができました。授業でわからないところはすぐに先生に聞きに行き、家では父に数学や社会を中心にわかるまで何度も教えてもらいました。やるべきことを書き出し、自分で計画を立てて取り組むことで、見通しをもって勉強をすることができた前期でした。

後期は、英語を中心にさらに学習に力を入れたいと思います。単語や熟語など基礎をおさえて、長文や英作文にも生かしていきたいです。また、残りの学校生活や行事も全力で楽しみ、笑顔で卒業できるように頑張りたいです。

前期の振り返りと後期の抱負

2年A組 伊藤 ** さん

ぼくが前期で一番がんばったことは卓球です。総体後、三年生の女子の先輩方が引退して、部長として本格的に部活全体を引っ張っていく立場になりました。部員をまとめられるか心配でしたが、全員で同じ大きな目標を立て、それに向かってがんばってきました。目標に対して、どうすれば達成できるのかを考え、自分のプレイの改善点を見つけ、そこに集中して直す練習や、いろいろなボールを出せるようにする練習などをしてきました。秋季大会では団体三位という結果を残せましたが、全県大会に行くことができず、目標も達成することができない悔しい結果になってしまいました。この大会での反省を生かして次の春季大会、総体ではもっと成長して臨みたいです。

そしてぼくが前期にもっとがんばれたと思うことは学習です。部活と勉強の両立ができずに、テスト勉強がおろそかになってしまいました。苦手なところの復習が全然できませんでした。教わる内容がどんどん難しくなっているのに、復習だけではなく予習もしていくよう心がけたいです。

前期の学校行事で一番心に残っているのは大中祭です。合唱コンクールでは初めての指揮者に挑戦しました。練習が始まった頃は、真面目に指揮をしているつもりなのになぜか笑われてしまったり、歌と指揮がずれていることが何度もあったりしました。ですが、いろんな先生が教えてくださり、そのおかげで本番では自信をもって指揮をすることができました。みんなの努力の甲斐もあって素晴らしい歌を披露することができたと思います。

後期からは、生徒会や専門委員会などで二年生が中心となり、学校を引っ張っていく立場になります。ますます大変になると思いますが、みんなで協力して頑張っていきたいです。 We can do it!

（うらにつづく）

前期を振り返って

1年A組 東海林 **さん

ぼくは、前期を振り返って、三つのことをがんばりました。

一つ目は、テストです。中学校は、小学校とちがって中間、期末テストがあります。入学当時は、部活動と勉強を両立するのが難しかったけれど、今では両立することができています。

二つ目は、部活動です。ぼくは、科学部に入部しました。入部したてのころは、プログラミングが全くできませんでしたが、先生や先輩にやさしく教えてもらい、同じクラスの佐々木**さんとチームを組んでWRO Japan 2025地区予選会に出場しました。今回のテーマは火星探査でした。先輩たちのような高得点を取れるようなロボットを作ることは難しかったので、地道に得点を取れるようなロボットを作ることにしました。先生にアドバイスをもらい、スタートからゴールまでたどり着けるロボットを作ってみたら、うまくいったので、次は障害物にチャレンジするロボットを作りました。何度も成功と失敗の繰り返しで、その度に**さんと意見を出し合い、相談しながら完成させる事ができました。大会当日は、前日の練習と違って緊張感があって思ったように操作できず、本番まで何度も調整を行い、本番にのぞみました。その結果、3位になることができました。大会まで先生や先輩からアドバイスをもらい、最後まであきらめず、**さんと協力しがんばることができました。これからも、プログラミングの技術を磨いて、先輩たちのように、全国大会に出場できるようにがんばりたいです。

三つ目は、行事で自分の役割をがんばりました。ぼくは前期、学級副委員長になりました。学級の代表は中学校で初めてでしたが、みんなと協力して学級をまとめようとがんばりました。また運動会では、一致団結して、応援合戦の振り付けを覚えたり、自分の競技をがんばりました。先で行われた大中祭では、ステージ部門の照明担当でした。最初は使い方も分からず、不安でしたが、毎日練習して本番では盛り上がるようにがんばることができました。

後期では、学習の予習、復習をしっかりと行い、部活動ではプログラミングの技術を磨いて、前期よりも充実した学校生活を送れるようにがんばります。

大中学生の活躍

☆秋田県活性化中学生選手権県央大会☆

10月11日(土)午後、秋田市のさきがけホールで、科学部(小林**さん、鈴木**さん、金子**さん、佐藤**さん)が菊地建設さんの地域活性化アイデアを提案しました。

- ①社員マスカットを国民マスカットに計画
- ②グランピング施設の建設
- ③消防団と連携(重機対応部隊を結成)

残念ながら、全県大会出場代表にはなりませんが、画期的な提案をしてくれました。



☆第71回青少年読書感想文コンクール支部審査(本荘由利地区)☆

特選 伊藤 **さん (自由図書「ラーゲリより愛を込めて」)
「逆転しない正しさ」

特選 佐々木**さん (自由図書「十年屋」)
「思い出」

入選 遠藤 **さん (自由図書「嵐をこえて会いに行く」)
「紡ぐ人々」

入選 伊藤 **さん (自由図書「君はなぜ働くのか」)
「働くことの意味」

入選 伊藤 **さん (自由図書「再び立ち上がる!」)
「津波の怖さと人々の優しさ」

入選 佐々木 **さん (自由図書「墜落遺体」)
「人に寄りそい 人と向き合う」

入選 吉尾 **さん (自由図書「万引き家族」)
「家族の大切さ」

吹奏楽部定期演奏会



10月12日(日)午前に体育館で第11回大内中学校定期演奏会が行われました。

ステージは3部制で、オープニング、第1部、第2部、アンコールと計10曲を演奏しました。

今年度は、中央地区大会金賞で全県大会に出場したこともあり、レベルの高い演奏に、聴衆の皆さんも聴き惚れていました。